

スタッフ・キャスト

脚本家プロフィール

小松 江里子

大阪府出身。1991年『卒業』（TBS）でデビュー。

その後、数々のドラマの脚本を担当。

常に視聴者を共感させる人間愛を描くことのできる、日本を代表する脚本家。

代表作として、2008年のNHK朝の連続テレビ小説『どんど晴れ』、

2009年のNHK大河ドラマ『天地人』、

2015年のNHK大河ドラマ『花燃ゆ』、

東海テレビで、2010年～2015年まで放映された「花嫁のれん」（シーズン1からシーズン4）は、

現在、日本ほか世界四十か国で放送中。

映画では、『利休にたずねよ』、『サクラサク』、『海難1890』、2020年12月公開の『天外者』など。

ドラマの最新作は、この春から放送の「理想のオトコ」（テレビ東京）、「大富豪同心2」（NHK）、

「コールドゲーム」（東海テレビ）などがある。

2008年、日本人の心や人の触れ合いを取り上げ、放送文化に大きく貢献したとして、『橋田賞』を受賞。

2009年、日本映画テレビプロデューサー協会が選定するエランドール賞で『天地人』が作品書を受賞。

2016年、日本トルコ合作映画としてして大きな注目を集めた『海難1890』（田中光敏監督作品）で、

第39回日本アカデミー賞 優秀脚本賞受賞。

2021年、第94回キネマ旬報、読者選出日本映画ベスト・テン第一位『天外者』

第13回東京新聞映画賞「大切な人に薦めたい映画」第一位受賞。

